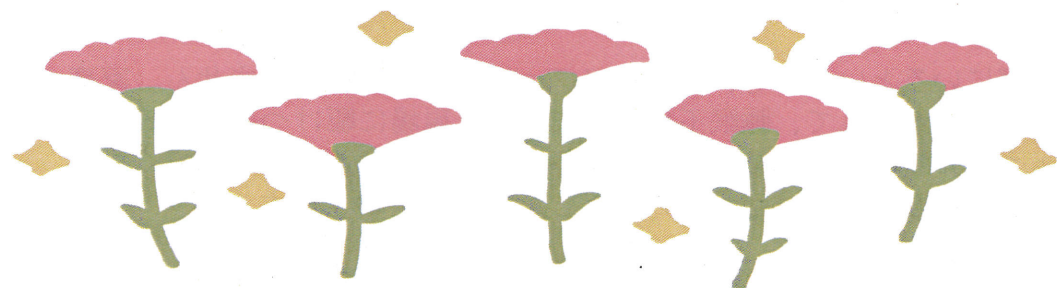


私の仕事は、声がかかると出かけて行って話すというものです。
今のようにどこからも声がないと、
おまえは必要無いといわれているような気になります。

その点、介護はいい仕事です。
こんな事態でもなくなることはありません。
それどころか、お年寄りが待っていてくれるんですから。
「不要不急」どころか「必要火急」の仕事です。

私は今年で70歳(!)なろうとしています。だから介護現場にいても足手
まといになるだけでしょう。でも「介護職になにかエールを」と言われて、
自分も必要とされているのかもしれない、と勝手に思っこの文を書きま
した。少しでも「必要火急」になっていたらうれしいです。



今回寄稿して頂いた三好春樹さんは生活とリハビリ研究所の代表を務
めていらっしゃる理学療法士さんです。

三好さんは「オムツ外し学会」や「チューブ外し学会」を立ちあげて
介護、看護、リハビリの枠を超えて日本全国で「生活リハビリ講座」
を開催して 全国の多くの医療や介護の現場の人たちにすぐれた経験
を教えて下さっています。きょうと福祉倶楽部のメンバーも三好さん
の話を生講義で学ばせて頂きました。

コロナ禍で苦しむ現場の人たちへの三好さんの熱いメッセージです。
収束が見えたらわたしたちもまた三好さんのお話を聞きたいと願っ
ています。

新型コロナウイルスについて 事務所の取り組み



当事務所が提供する訪問介護を中心とした福祉サービスについては、
新型コロナウイルス感染発生の当初から社会基盤を支える事業の位置付
けとして行政からサービスの継続的な提供を求められております。
緊急事態宣言の対象地域となりましても利用者さんや従業員の安全に
十分に留意し、引き続きサービスの提供を行ってまいります。

緊急事態宣言後、地方自治体が順次方針を作成。それにより、行政機関
や保健所等の要請・指示に応じて一部サービスの休止や変更などの可能性
があるかもしれません。

その場合は速やかにご利用者さんへ案内してまいります。

☆ヘルパー訪問時

マスク着用

手洗いし消毒液で手を消毒して訪問します。

万が一実行していないヘルパーがおりましたら遠慮なくご指摘ください。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により感染します。空気感染は
起きていないと考えられていますが、閉鎖した空間・近距離での多人数の
会話 等には注意が必要とされています。

マスクの着用、換気、支援の度に手洗いをする等により感染防止対策を
徹底したいと思っております。生活支援などの場合、可能であれば別室に移動し
ていただくようご協力お願いします。

きょうと福祉倶楽部ヘルパー一同、
プライベートでも閉鎖された人混みへの参加の
自粛、体調管理に取り組みます。



有限会社 おとくに福祉研究所
きょうと福祉倶楽部

〒617-0824
長岡京市天神4丁目7-12 ハイッ東台101号
TEL 075-958-2560 FAX 075-957-2808
E-mail info@fukushi-club.com